

Together

経営に関する難題解決の事例や手法、働く人々の思いや業界最新情報を共有する月刊紙

KBS
INSTITUTE
KBS
ENTERPRISE
KBSグループ
2022.1 No.185

知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援

KBSは「HANDS ON型」で、観光・サービス業界を支援します。http://www.kbsbiz.com E-Mail : info@kbsbiz.com

新年あけましておめでとうございます。今年も観光業界で培った経験や知恵（Knowledge）を活かしクライアント様、パートナー様とともに汗を流し行動し（Behavior）観光業界に携わる企業・団体の経営に関する諸問題を解決すること（Solution）で社会に貢献する会社を目指してまいります。

何卒ご愛顧、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

株式会社KBS創研・株式会社KBSエンタープライズ
代表取締役 小泉 壽宏



おかげさまで、KBS創研は第19期、KBSエンタープライズは第5期を迎えました！ ウィズコロナ、アフターコロナの時代に挑戦する観光事業者を 今年も懸命に支援してまいります！

■コロナ禍で感じた旅の重要性

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症の猛威は2021年も続き、観光業界は大きな痛手を被りました。

しかしながら依然油断はできないものの昨年秋ごろから感染状況は落ち着き始め、各自治体より地元を中心に旅をするマイクロツーリズムを促進させる施策が打ち出され始めました。まもなく全国的な規模で実施されるGoToトラベルキャンペーンも再開するものと受け止めております。少しずつですが観光業界にも光が差し始めました。

このコロナ禍において感じたことがあります。それは旅の重要性が今まで以上に高まったということです。長い期間行動制限が行われていたため、行きたくてもいけない場所があったり会いたくても会えない人がいたりする中で、喪失感を感じた人は少なくないと思っております。

生きていくにあたり、様々な所へ足を運んだり色々な人と出会い関わりあったりすることがいかに大切なことかを感じた人は少なくはないでしょう。

■観光の変化の兆し…「関係人口」がますます増える

観光が動き出すにつれ人々の動きにも変化が生じてきたと受け止めております。それは、単にどこかへ出かけることが目的となる旅から何かを吸収する、人に会うといった手段のための旅に変わってきているのではないかとことです。

弊社の関係先でも沖縄が本来持っている長寿につながる環境や素材を活かした様々なアクティビティを体験することで心身ともに健康になる旅をプロデュースする「琉球大学ウェルネス研究分野」の取り組みや地元で生まれ育った代表が愛する島と海での楽しみ方をガイドする沖縄・座間味村のツアー会社「アイランドパワー」の活動等はこのコロナ禍におい

て益々注目をされてきたように感じております。旅を通じて得られた経験や地元の人とのつながりは、その土地への愛着にもつながります。そのことが再訪意向にもつながり、まるで親戚や友人を訪ねるような旅が生まれます。やがて彼らは地域の様々な活動にも関わっていく存在となっていくことでしょう。

このような動きを受け、観光の世界も交流人口の促進から関係人口を増やす取り組み（地域のファン、地域の課題解決にも関わってもらえる地域外の人々とのネットワークを拡げる取り組み、(株)JTB総合研究所HPより引用）が増えてきました。

■沖縄でのKBSの取り組み

弊社におきましては沖縄県・金武（きん）町での自然体験学習施設ネイチャーみらい館さんとの取り組みがその一例です。町内にある自然豊かな環境とギンバル訓練場跡地に次々と整備される高度医療施設等を結び付け「自然の中で滞在を楽しみながら身体機能を回復させる」取り組みを行っています。何度も金武町を訪れて頂き、医療施設で身

体のケアをしながら地元の人々とともに滞在を楽しむ、そんなツーリズムが芽生えるよう様々な団体や事業者とも連携し取り組みを始めております。

旅行者を友人、仲間と捉える、そんな旅のカタチが増えていくように感じております。KBSもこのような動きを注視しつつ、地域や事業者の皆様と汗を流してまいる所存です。

コロナ禍を吹き飛ばせ！ 観光業界のユニークな取り組みを発信！（第2回）

旅ナカで一時間あったらできることを増やすと日本の観光がおもしろくなる

旅ナカラボ合同会社

旅先での滞在メニューを充実させることで地域の魅力づくりを応援する会社が神奈川県小田原市に誕生しました。それが今回ご紹介する「旅ナカラボ合同会社」です。代表の野添幸太さんは大手旅行会社で様々な事業に携わってこられた旅行ビジネス創出の達人です。創業にあたり野添さんから寄稿いただきました。

長年、旅行会社で勤務をしてきましたが、2021年3月末に退職し、12月に小さな会社を立ち上げました。会社名は「旅ナカラボ合同会社」。

旅ナカを楽しく過ごせるアイテムを企画したり、販売したりする会社です。

ウイズコロナの時代。これまでのように順路に従って見学し、短い時間で足早に見て次々と目的地を移動していく通過型観光から、友人・小グループ・家族単位で密を避けてゆっくりと過ごす滞在型の旅行へと行動シフトがはじまっています。

地域にとっては、1泊(半日滞在)から複数泊(連泊)へ、宿を変えずにゆっくりと同じ地域に滞在することになりますから、そこには新たに「町の中で、宿の中での滞在時間が増え、そこでの消費機会が増える」というビジネスチャンスが生まれます。

そして、主たる観光地、グルメの情報以外に、その地域を拠点に飽きることなく楽しめる選択肢がたくさんあるかどうか、が目的地を決定する要因に変わっていくことになります。

つまり、地域観光は通過型から滞在型にシフトすることにより、これまでの「観光入込客数×観光消費額単価＝観光消費額」といった評価指標から、「できることを選択肢の数」「滞在時間(時間軸)」「関係性の構築(交流機会)」といった新しい評価軸により、「地域の持続可能性」を高めることに重きを置いた取り組みと変化していくと考えます。



この傾向は訪日インバウンドの課題としてはすでに顕在化していたものの、コロナ禍により中断、未着手のままだった課題でもあります。

そんな新しい時代の入り口に立ち、旅ナカラボはこれからますます面白くなる旅ナカ需要のうち、「一時間でできること」にフォーカスし、さまざまな提案をしております。

【旅ナカラボ合同会社の仕事】

1. 旅ナカの「1時間」の過ごし方を提案する仕事 【一時間楽しむ観光体験キット・グッズの開発・卸・販売】 ※宿泊施設様向け

連泊してゆっくりお部屋で過ごす3世代旅行。ちょっとした空き時間に、孫が一所懸命作った手づくりのお土産をおじいちゃん・おばあちゃんにサプライズでプレゼントするって、素敵じゃないですか？ そんな商品をただいま開発中です。

2. ツーリズムをアップデートする仕事 【ツーリズムコンサルティング】 ※自治体様、観光事業者様、宿泊施設様向け

旅行会社で25年以上にわたり新規事業開発を担当してきた経験を生かして、事業開発、観光プロモーション提案等、アイデアにお困りでしたらバンバンしゃべりに伺います。民泊・インバウンド・旅ナカコンテンツ等の領域は得意です。

旅ナカラボ合同会社のご紹介

代表 野添幸太

〒250-0045 神奈川県小田原市城山1丁目28-26
ブランジュ城山102

URL : <https://tabinakalab.biz/>

編集
後記

全世界が新型コロナウイルス感染症に翻弄され、今なお「ポスト」が見えない新年の幕開けです。そんな中、今月号のTogetherにあるように「観光には変化の兆し」があり、「旅ナカラボ合同会社」さんの「これまでのように、短い時間で足早に見て次々と目的地を移動していく通過型観光から、友人・小グループ・家族単位で密を避けてゆっくりと過ごす滞在型の旅行へと行動シフトがはじまっています」は新しい時代への指摘ですね。本年もどうぞよろしくお祈りします。(増田)

KBS グループ

株式会社 KBS 創研 経営革新等支援機関 近財金1第241号 20130528 近畿第74号

株式会社 KBS エンタープライズ 兵庫県知事登録旅行サービス手配業 第18号

本社：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町3丁目1-5-203 TEL:06-6423-5561/FAX:06-6423-5571